

# 『生命』と『いのち』の 問題としての臓器移植

日時：2017年1月28日（土）

14：00～17：30（13：30開場）

場所：南山大学名古屋キャンパスR棟3階R32教室

講師：保岡啓子

（北海道大学大学院医学研究科 客員研究員）

コメンテータ：奥田太郎

（南山大学社会倫理研究所第一種研究員）

司会：森山花鈴

（南山大学社会倫理研究所第一種研究員）

南アフリカ共和国で世界初のヒト間の心臓移植が行われてから50年、日本で臓器移植法が施行されてから20年。これまでの間、脳死と臓器移植をめぐる、脳死の定義、提供者の同意能力、臓器不足といった様々な問題が、医学、法学、倫理学など様々な観点から論じられてきました。

今回の懇話会では、移植医、レシピエント、ドナー家族の語りを丁寧に拾い上げる医療人類学的アプローチで脳死・臓器移植問題を捉える保岡啓子先生をお招きして、生物学的な「生命」と人間学的な「いのち」の狭間を浮遊するものとして「問題」を捉え直す試みについてお話しいただきます。

【お問合せ】南山大学社会倫理研究所

Phone: (052)832-3111(内線3413・3414) Fax: (052)832-3703

E-mail: ise-office@ic.nanzan-u.ac.jp HP: <http://rci.nanzan-u.ac.jp/ISE/>